

# あづか

京都和束荘 7月1日オープン



## 第2回定例会

- 決まったこと 第1回臨時会・条例改正他 >>> P.2
- 主な質疑 28年度補正予算 >>> P.4
- 一般質問 3人が町政を問う >>> P.5
- 委員会報告 総務厚生・産業 >>> P.10
- まちの元気 和束町子どもの本研究会 >>> P.12

# ンバイクコース整備へ

6月定例議会（6月10日～20日）では、町長提出の平成28年度補正予算、平成27年度補正予算（専決）、2本の条例改正、議員発議の2本の意見書が提案されました。  
審議・採決の結果、町長提出の議案は原案通り可決し、議員発議の2本の意見書は否決しました。

## 一般会計 碾茶工場整備補助に約 1億5500万円を計 上、トンネル開通効果 の調査研究費も

今回の補正予算では、「産地パワーアップ事業」補助金を活用した碾茶工場整備、撰原、下島、杣田区内での町道維持修繕工事、また「地方創生まちづくり調査研究」費用が計上され、府道宇治木屋線のトンネルが開通した場合の効果の調査研究が行われます。

用備品として給水車配置、「和東茶ペル」等が盛り込まれました。

た。  
観光案内所は府道沿いの和東交番横の町有地に建設され、来年4月オープン予定です。費用財源には過疎債が使われます。

「茶ペル」事業では、茶畑景観など和東で結婚式を挙げるカップルに備品を貸出す等の支援を行います。  
その他、小杉集会所の屋根改修工事、各行政区への掲示板整備等の費用が計上されました。



「始めたのクロスカントリー」オープン&キッズ

観光振興関係の事業では、観光案内所の整備、マウンテンバイク・コース整備と自転車購入、湯船森林公園の水利確保



観光案内所予定地

## 条例の改正

### ◎町税条例の一部改正

- 法人税割の税率引き下げ、軽自動車税の環境性能割の税率特例措置などの規定を改正。

### ◎行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正

- 法施行をうけて固定資産評価審査委員会条例を一部改正。

# 平成28年度補正予算

# 観光案内所、マウンテ

## 【主な事業と予算額】

- 地方創生まちづくり調査研究業務委託 350万円
- 和東茶ペル支援備品 300万円
- 小杉集会所屋根改修工事 216万6千円
- コミュニティ振興事業（掲示板設置） 145万8千円
- 産地パワーアップ事業補助金（碾茶工場整備） 1億5549万9千円
- マウンテンバイクコース調査 500万円
- マウンテンバイク購入 120万円
- 湯船森林公園水利確保用備品（給水車） 1100万円
- 観光案内所整備関連 7429万7千円
- 町道維持改修工事関係 1850万円
- 人間ドック検査委託 159万5千円

特別会計では、国民健康保険と介護保険で補正予算が提案されました。

特に、国民健康保険事業では、人間ドックの受診負担が、5割から3割に引下げられると共に、「節目ドック」(※)を行う

う事となりました。また、これまで千円の自己負担だった特定健診の受診負担についても無料化する事となりました。

## 特別会計

国保事業・人間ドック受診負担を軽減へ。特定健診受診の無料化も実施へ。

### ※「節目ドック」とは

◎40～44歳、45、50、55、60、65、70歳を対象に、外来ドックの受診負担を、2割負担に軽減します。



### 27年度補正予算（専決）

## 減債・福祉基金で約1.7億円積立て

6月10日の本会議に、27年度の一般会計と国民健康保険、簡易水道、下水道、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計の補正予算が専決議案で提案されました。

一般会計では、減債基金積立金に1億143万6千円、地域福祉基金積立金に7千万円が計上されました。減債基金は将来の借金返済、福祉基金は構想のある保健福祉センター（仮称）の建設費用に充てられる予定です。

### 第1回臨時会

## 「山の家」増改修工事の契約金額を増額

28年第1回臨時会が5月20日に開かれ、専決3件、工事請負契約の変更が1件提案され、可決・承認されました。

- ◎27年度一般会計補正予算（専決）
- ◎町税条例の一部改正（専決）
- ◎国民健康保険税条例の一部改正（専決）  
→課税限度額を89万円に引き上げなど。
- ◎「山の家」増改修工事請負契約金額の変更  
→1億7928万円を1億9024万2千円に

# 主な質疑

# 28年度補正予算

平成28年度補正予算の内容について、町道整備や観光振興、災害対策や保健予防施策、有害鳥獣対策など、各議員から様々な角度から質疑が行われました。質疑の主な内容を紹介いたします。

**問** 町道維持修繕工事の内容は？

**答** 撰原、下島、杣田地内の町道の修繕です。

**問** 通学路の安全対策の計画は？

**答** 現在も整備を進めている。路肩整備や除草等も含め安全確保に努めたい。

**問** 路肩の内側にラインを引き安全確保を図る方式の検討を。

**答** 今後検討したい。

**問** マウンテンバイクコース又整備の内容は？

**答** 国際大会に対応したコースに仕上げたい。

**問** マウンテンバイク購入の内容は？

**答** 単価6万円程度でスクール用を20台購入する。

**問** コース運営の方向性は？

**答** 運営団体を別に設置していく必要がある。

**問** 運動施設でのAED設置は？

**答** まだ整備できていないが検討する。

**問** 森林公園の水利確保用品の内容は？

**答** 給水車を配置し飲料水や洗車等の水を提供したい。

**問** 避難所指定した中学校への対応は？

**答** 協定を結ぶべく教育委員会と調整中。

**問** 小学校のトイレの洋式化推進の方針は？

**答** 仮設トイレでの対応と共に洋式化も調整していく。

**問** 産地パワーアップ補助金の内容は？

**答** 設立された株式会社が



返礼品

建設する碾茶工場への補助で約1億5500万円計上した。補助率は国・府で49%。

**問** 各地域での掲示板設置について説明を。

**答** 宝くじの助成をうけ各行政区に1基ずつ設置する。

**問** ふるさと納税のキャッチフレーズを見直しては？

**答** 今後、より良い形式を検討していきたい。

**問** 返礼品のバージョンアップの方向は？

**答** お茶以外にも広げる方向で検討している。

**問** 「地方創生まちづくり調査研究業務委託料」とは？

**答** 宇治木屋線のトンネルが実現した場合の経済効果等を把握するため一定の資料を整備するためのもの。

**問** 人間ドックの人数枠に変化はあるのか？

**答** これまでの受診者121人を140人にとの想定で実施する。

**問** 新規受診者を優先する等の検討は。

**答** 昨年受診されていない方を優先して受付けている。

**問** 「茶ペル」事業の内容は？

**答** 茶畑や町内で結婚式を挙げて頂く方への支援として、机や食器等の式用の備品を購入する。

**問** 結婚式への町の関わりは？



トンネル要望

**答** あくまで備品だけを提供し、手作りの式を支援するもの。

**問** 有害鳥獣対策の進捗状況は？

**答** 餌付けをして130頭を捕獲する計画で動いてきたが成果ががらまず再協議中です。

**問** 場所的に無理があるのでは。場所変更も含め住民の声も聞いて取組むべき。

**答** 1頭でも2頭でもとの思いで何とかしていきたい。

**問** 観光案内所のオープン時期や運営体制は？

**答** 来年4月オープン予定。商工会と連携し運営する方向で、コンシェルジュ(案内人)を1名配置したい。

# 町政を問う！提案する！ 一般質問

6月10日に行った一般質問には、3人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。質問順に、各議員の質問項目を紹介します。

## ●井上武津男議員

1. 地震対応について

## ●竹内きみ代議員

1. 地方創生推進交付金の申請について
2. 高齢者支援の推進について
3. 自殺防止対策について
4. 町オリジナルの婚姻届について

## ●岡本正意議員

1. 熊本地震を受けて防災対策の強化について
2. 空き家活用による住宅確保について
3. 同和行政について

**一般質問**は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。

問

地震対応について

答

地域防災計画に基づき実施する

直接的要因

問

和東町近辺の活断層は？

答 町長

被害が大きいと想定される断層帯は、花折断層帯、奈良盆地東縁断層帯、生駒断層帯、木津川断層帯、和東谷断層の5断層帯で、その中で特に、奈良盆地東縁断層帯、木津川断層帯、和東谷断層の3断層帯について、最大震度7が予測される。

リンテイ和東で、今後計画的に公共施設の耐震補強に取り組み。

問

避難所の収容人数は？

答 総務課長

10ヶ所の施設で、計3955人となっている。

問

「福祉避難所」の確保と避難経路・職員の対応は？

答 福祉課長

老人福祉センターと、特別養護老人ホームわらくの2施設で、一番安全な経路で誘導する。災害対策本部より職員が必要な所に配置される。

問

マグニチュード7クラスに耐えられる施設は？

答 総務課長

海洋センター・老人福祉センター・テラス和東・グ



井上 武津男 議員

問

感染症や熱中症等の発生が、アウトブレイク（一斉発生）する場合の対応は？

答 福祉課長

冬場はインフルエンザやノロウイルス等の対策に、診療所職員・福祉課の保健師が中心となって、夏場は熱中症対策として、乳幼児や高齢者を優先して、空調完備施設を利用する。

問

町が孤立した場合、食料・飲料水の確保は？

答 総務課長

食料は、米や缶入りパン等で2460食分、飲料水は500のペットボトルで1512本保有している。

備蓄していた食料及び飲料水の一部を熊本地震の救援物資として使用したので、現状では不足しているが、今回の補正予算に災害備品の購入軽費を計上している。今後も、計画的に備蓄に努める。

問

町が孤立した場合、ヘリポートの確保は？

答 総務課長

和東運動公園グラウンドの1ヶ所となっている。被災状況によっては、和東小学校グラウンドや和東中学校グラウンドの使用も想定している。

問

間接的要因

他地域で震災があり、その事で停電が長時間つづいた場合、水道・下水道への影響は？

答 建設事業課長

浄水場には停電にそなえ、自家発電機・マンホールポンプには発動発電機を常備している。

問

下水道の場合、ポンプアップ箇所で「汚物の吹き出し」という最悪の状態が起きる事がないか？

答 町長

日本下水道事業団と災害支援協定を数日中に行い、年度当初より事務を進め、これにより解消される。この協定により、災害発生時の1次調査、災害報告資料作成等、初動について無償の地縁を受け、緊急措置から災害復旧に向けた事務処理、応急工事、本工事について、日本下水道事業団の応援を受けることができ。京都府内では本町が初めての協定締結となる。



浄水場発電機

問

### 地方創生推進 交付金の申請は

答

交流人口の拡大と活力ある  
まちづくりを進めるため申請する

問  
申請内容は。

答  
湯船森林公園をサイクリ

ストの拠点に位置付け、全国規模の大会ができるマウンテンバイクの公認コースの整備を行う。民宿施設や民泊施設で周遊観光を促進することで観光客拡大と地域外の外貨を獲得する計画で交付金の申請をしている。

問  
企業版ふるさと納税についての考えは。

答  
地方創生担当課長

地域再生計画を策定し内閣総理大臣の認定を受けなければなりません。事業の

企画立案段階で企業への事前依頼や相談を行う必要があり検討する。

問

これまで地域再生計画を何回作成したか。閲覧できるようホームページに掲載しては。

答  
町長

地域再生計画の認定は三度目になる。ホームページで紹介していく。

問  
高齢者支援の推進について

答  
介護支援ボランティアの

ポイント制度を検討しては。



竹内 きみ代 議員

答  
福祉課長

介護サービスの状況や生活支援の在り方等、本町に合ったポイント制度を検討し、高齢者の皆さんが地域で貢献できるよう事業実施に向けて調査研究する。



園ふれあいサロン

問

ふれあいサロン充実に向けての考えは。

答  
福祉課長

将来的には介護予防の場

として活用したい。開催回数も含め社会福祉協議会と協議を進めたい。

問  
自殺防止対策について

現状をどのように把握しているか。

答  
町長

平成21年から27年迄の自殺者は10人であり、府平均より高い数値となつている。

答  
福祉課長

「こころの体温計」の利用状況は、27年度は8987のアクセスがあった。

問

自殺対策基本法が改正され、本年4月から対策計画が町村にも義務づけられたが対応は。

答  
福祉課長

相談窓口を記載したチラシの配布や啓発物品の活用と府の計画に基づき連携した事業を進める。

町オリジナルの婚姻届

について

問

本町の婚姻届数の推移と町オリジナルの婚姻届の作成を。

答  
税住民課長

平成23年が15件、24年が29件、25年が18件、26年が13件、27年が10件、年平均17件です。婚姻届は居住地や本籍地に限らずどこでも提出できるので、本町でも導入を進めたい。デザインについてもオリジナルなものを検討し、記念になるよう工夫する。出生届についても進めたい。

問

新しい門出や、さまざまな記念日に庁舎内で茶畑景観パネルやキャラクターを使った記念撮影ができるコーナーの設置を。

答  
総務課長

人生の思い出に残る結婚、出産やご縁があつて転入された方などにも歓迎の気持ち、おもてなしの心を伝えるきっかけになるよう設置に向けて進めたい。

問

熊本地震の教訓生かし、避難所運営対策の改善を

答

実情ふまえた独自のマニュアルを策定したい。

問

被災者生活再建支援制度の拡充を。

答

町長 拡充を願っており、町村会を通じて要望すべきは要望する。

問

避難所の運営に関わり①各避難所の担当職員の配置②女性や高齢者、障がい者に配慮した運営③屋外避難者への支援④学校施設の避難所機能の強化、についての対策は。

答

総務課長 ①甚大被害の場合は職員だけでは対応困難であり、消防団員も運営にあたる②町の実情に即した運営マ

マニュアルを策定する

③学校や運動公園グラウンドでの避難生活を想定しているが、車中泊避難は想定しておらず、今後検討する

④小学校での防災備蓄倉庫の設置へ調整中

問

独自のマニュアルはいつ策定するのか。

答

総務課長 まだ検討の段階だが速やかに着手したい。

問

車中泊対策も方針を持つべきでは。

答

総務課長 国の指針も踏まえ検討するが現実的にはグラウンド



和東運動公園グラウンド

使用と認識する。

問

仮住宅の適地選定は

答

総務課長 運動公園と小中学校のグラウンドをリストアップしている。



岡本 正意 議員

問

原発事故災害に備え①防災計画での位置付けは②放射線防護措置の計画への反映を③独自に放射線測定を。

答

総務課長 ①現行計画では原子力災害対策は盛り込んでいない②次期計画の修正で対策を検討していく③現在は府の測定システムを活用しているが、次期計画の中で検討したい。

③現在は府の測定システムを活用しているが、次期計画の中で検討したい。

空き家活用の具体化は

問

調査を踏まえた具体的な方針や計画は。

答

町長 貴重な資源として位置づけ、活用のためのしくみづくりを検討している。

答

農村振興課長 関係機関で会議を開き具体的な活用方向や問題点を洗い出している。

問

空き家バンクや改修費用補助等の制度創設のメドは。

答

農村振興課長 バンク創設には不動産仲介の仕組みづくりが必要であり、府の改修補助金制度の活用も含め、今後検討をすすめたい。

問

いつ頃をメドに制度を実施できるのか。

答

農村振興課長 期限は切れないが出来るだけ頑張って制度充実を図りたい。

同和行政の終結を

問

東区だけに実施している防犯灯管理補助はやめるべき。または全区で実施を。

答

町長 関係区と協議し考えていく必要がある。

問

山城人権ネット等への補助はやめるべき。

答

町長 内容を関係市町村とも協議し必要な事は措置をすすめる。必要な事業と判断している。



## 意見書

第2回定例会（6月）に次のとおり意見書が提出されました。

書 応能負担の原則に基づく税制の徹底を求める意見書

否決

提案者 岡本正意 議員

賛成者 1人  
反対者 7人

TPP協定の撤回を求める意見書

否決

提案者 岡本正意 議員

賛成者 2人  
反対者 7人

## 人事関係

消防委員会の委嘱に同意

和東町消防委員に1名の欠員が生じた為、新たに委嘱する必要が生じたので議会の同意を求めたもので竹内秀年氏が選任されました。任期は前任者の残任期間。

平成28年第2回定例会(6月)に、町長から提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

## 各議員の賛否

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			竹内きみ代	藤井清隆	村山一彦	吉田哲也	井上武津男	岡田泰正	岡本正意	小西啓	岡田勇	畑武志	
可決	本	和東町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-

※会議区分 本は本会議 ○は賛成 ×は反対 畑武志議長は本会議の採決に加わらない。

## 一部事務組合・広域連合議会報告

### 山城病院組合議会

和東診療所へ山城病院から医師支援で合意。

山城病院議会臨時会は平成28年5月18日に開催されました。

### 報告事項、決算見込み

●6月1日より和東町国民診療保険直営診療所に山城病院から医師の支援を受ける調整が確認中との報告を受けました。

●平成27年度の病院事業は6期連続で約2100万円の黒字、介護老人保健施設事業は2期連続で約500万円の黒字見込みの報告がありました。

### 専決処分の承認

平成28年度診療報酬に伴う京都山城総合医療センター使用料等徴収条例の一部を改正する条例は承認されました。

### 同意案件

監査委員に岡田 勇氏、議会運営委員の委員には北 猛氏(南山城村)、岡田泰正氏が新たに選任されました。

総務厚生常任委員会

人間ドック5割から

3割に負担軽減

委員長 井上武津男

本委員会は6月1日に、平成27年度の主要事業の成果について、事務調査を行った。

最初に町長から、平成27年度決算出納は黒字であったとの報告があり、和東町にはたくさんのお客が来られ、住民との協働のまちづくりに取り組んでいる。

又、宇治木屋線の犬打峠トンネル化に向けた調査費が計上され、着手されると聞いている。さらに、星野リゾートがまちづくりに関心を持っており、和東町のブランド力の向上を目指したい。診療所の先生が退職され、2年間の期限つき採用となり、その後、医師の確保・存続に向けて、山城病院と月2回の医師派遣の協定を結ぶことができたが、2年間に医師の確保が大きな課題である。

次に副町長から報告があり、27年度決算見込みでは、一般会計で歳入総額38億5952万円、歳出総額37億3542万円で実質収支は1億1090万円の黒字であった。また、全ての特別会計で黒字決算となった。

総務課では18事業の報告があり、路線バス運行維持補助金は、人口減少で乗車数も減少、補助金が増加している。バス停環境の改善を図るため、バス停表示板のリニューアル、観光案内板の設置により、交流人口の増加を見込みたい。委員からは、ふるさと応援寄付金の返礼品を地域の産物に、また基金の活用についても質問があり、活用先として、五つの目的に応じた事業を検討している。

地域力推進課では、地



天満宮トイレ

域観光資源充実支援事業により、観光施設の安全対策として、手すり、フェンスなどの整備、観光客や住民が快適に利用できるトイレ整備を行った。

税住民課からは、27年度の課税状況は、前年度より1.1%減で3億7002万円。また委員からは、国民健康保険事業での人間ドッ

ク受診5割負担を3割にとの質問に対し、6月補正で対応したいと回答があった。

福祉課では、地域包括ケア総合交付金事業により、ゲームや体操等のメニュー提供で認知症予防に努め、要介護の増加を抑制し、地域ボランティア活用を定着していく必要があるとした。

また、京都府は、スマホ母子手帳の活用をしているが、和東でもアピールしていきたい。高齢者見守りサポート事業では、訪問回数が2138件、訪問対象者が45人であり、地域包括支援センター、居宅介護事業所などと情報共有ができ、それぞれの世帯で抱えている生活負担の解消を図るとの説明があった。



スマホ母子手帳

当日は、7月オープン予定の山の家耐震工事の現地調査を行い、後に観光案内所建築工事の概要説明を受け事務調査を終えた。



山の家現地調査



白栖八王子神社手すり

本委員会は6月2日に、平成27年度の主要事業の成果などについて事務調査を行いました。

最初に堀町長から和東町の地方創生への取り組み等の説明があり、その後、奥田副町長から平成27年度決算について報告があり、一般会計、特別会計はいずれも黒字決算であったとの説明でした。

農村振興課及び建設事業課から平成27年度の主要事業の報告が行われ、農村振興課では、茶業振興対策事業や集落営農組合育成対策事業などの33事業、建設事業課では、道路維持補修や社会資本整備総合交付事業などの19事業について説明がありました。

27年度の特徴として農村振興課では、山の家改修工事や、近年増加傾向であるサイクリングの環境整備に

27年度の特徴として農村振興課では、山の家改修工事や、近年増加傾向であるサイクリングの環境整備に



湯船マウンテンバイクコース

関する自転車振興計画の策定事業、湯船森公園内のマウンテンバイクコースの維持管理業務と野生動物里山事業に取り組んだ。

建設事業課では、町道山口線の拡幅改良工事や老朽化した門前橋の架け替え工事、町営住宅の建て替え事業に取り組んでいます。

その他、農村振興課から、27年度のお茶の入札状況と過去2年間の茶種別入札状況の報告があり、今年のお茶の出荷量が昨年より少なく碾茶の出荷量が多い傾向にあるとの説明を受けました。



町営住宅第5中西団地



町道山口線

町道山口線と門前橋架け換え工事の今後の計画は、国庫補助金が厳しい状況の中、京都府に対し要望していくとの事です。

公共料金滞納対策では強化を図っていく、町営住宅の入居については、現在建て替え工事を行っており、入居については空き家等も考慮していくとの答弁がありました。

町道山口線と門前橋架け換え工事の今後の計画は、国庫補助金が厳しい状況の中、京都府に対し要望していくとの事です。

公共料金滞納対策では強化を図っていく、町営住宅の入居については、現在建て替え工事を行っており、入居については空き家等も考慮していくとの答弁がありました。

整、捕獲にむけ協議、検討している。

町道山口線と門前橋架け換え工事の今後の計画は、国庫補助金が厳しい状況の中、京都府に対し要望していくとの事です。

公共料金滞納対策では強化を図っていく、町営住宅の入居については、現在建て替え工事を行っており、入居については空き家等も考慮していくとの答弁がありました。



町営住宅第3中西団地工事中

自転車振興実施計画では、危険箇所看板設置や道路拡幅等の計画を策定、有害鳥獣対策では個体調査、捕獲にむけ協議、検討している。

町道山口線と門前橋架け換え工事の今後の計画は、国庫補助金が厳しい状況の中、京都府に対し要望していくとの事です。

公共料金滞納対策では強化を図っていく、町営住宅の入居については、現在建て替え工事を行っており、入居については空き家等も考慮していくとの答弁がありました。

委員長 吉田哲也

町営住宅建て替え進行中

産業常任委員会

まちの  
“元気”を  
訪ねて

絵本に魅せられて。『絵本が好き!!』『子ども  
が好き!!』を広げたい 「和東町子どもの本研究会」

**Q** 「子どもの本研究会」はいつ頃から始められたのですか？始めるきっかけは？

**A** お話し会を始めたのが、昨年1月か2月から。以前住んでいた亀岡市のサークルで、絵本の素晴らしさに気が付きました。子どもたちの喜ぶ姿を見ていたので、和東でもと思い始めました。

**Q** 普段は、どのような活動をされていますか？

**A** 月1回図書室で未就学児を対象にお話し会をしています。「わらく」でも2カ月に1回お話し会をしています。

**Q** 活動をされていて、うれしいこと、または悩みなどは？

**A** 子どもたちのうれしそうな姿に「やってよかった」と思ったことや、本や子どもが好きと言う同じ思いを共有できる方と出会い、活動を広げていけるのがうれしいです。

悩みと言う

か、子どもが少ないので、なかなか人数が集まらない事。出来るだけたくさんの子どもに来てほしいですね。



**Q** こどもの本、絵本の魅力とは？

**A** 良い絵本は何度読んでも飽きないし、かみごたえのあるスルメのような感じ。

絵本はよく練られた文章で熱意が詰まった作品。それをみんなにも知ってほしい。

**Q** お気に入りの絵本を1つ選ぶとすれば？

**A** 「1つ」は選べませんが、「子どもたちを前に読み聞かせする」ならエリックカール「パパ、おつきさまとって」。「自分の子どもに読む」ならE・H・ミナリック「こぐまのくまくん」。「自分のために読む本」ならガブリエル・パンサン「アンジュール」。

**Q** これからの目標や夢を教えてください。

**A** 「お話し会」を続けていきたい。いろんな人と読む本を共有して、みんなが気軽に来れて楽しんでもらえたらと思います。

☆お問合せはこちらまで☆

和東町子どもの本研究会・詳しくは和東町図書室まで  
一緒に絵本を読んで下さるメンバーを随時募集中です。

☎ 0774 (78) 4013

取材 (S・O T・Y)

(T・H)

第3回定例会は、9月13日開催予定。傍聴にお越しく下さい。

編集後記

盛夏といえども立秋を過ぎれば秋への移り変わりがいわれ、議会では町政運営に大切な決算審議のときを迎えます。

和東町の定例会は、年4回と定めています。予算・決算の3月・9月以外の6月・12月は、ややもすれば影の薄い議会と見られていました。しかしここ数年は、国や府、町の動きが急過ぎて、それを反映した事業を全て当初予算に計上するということが困難となり、時には補正予算が町づくりの特色やその年の方向性を示すこともあり、6月定例会や臨時議会が、実は最も注目すべき議会だったこともあり得ます。

今回の議会だよりは、6月定例会を中心に編集しております。どれだけ今年の特徴を審議できているのか、ぜひ読み取って下さい。そして次の議会では、直接傍聴席で見聞きしていただけ幸いです。

広報編集委員会

- 委員長 岡本 正意
- 副委員長 井上 武津男
- 委員 吉田 哲也
- 委員 畑 武志
- 委員 岡田 泰正